

## 「主権者教育」～政治って何？選挙って何？～

令和元年9月7日（土）、一貫5年生と一貫6年生対象の土曜講座が行われました。今回は、名古屋市立大学の伊藤恭彦先生をお迎えして、名古屋城の木造建築などの旬な話題について考えながら、主権者教育についての講座を行っていただきました。

最初に、自分たちの生活の中で困っていることはないか考えました。その中から、一人では解決できず、社会でみんなが困っていることが社会問題であるということ学びました。次に社会問題（高齢社会・原子力発電所など）は、自分たちで解決方法を見つけるのは難しいため、解決策を考える専門家＝政治家を選ぶ（選挙）ことが必要であることを学びました。

選挙権年齢が18歳に引き下げられたため、実際に先日行われた参議院選挙の際に選挙権を有している生徒が数名在籍していました。そんな中、今回の講座を受けた生徒たちからは、「参議院選挙では何も分からなかったが、比較の方法が分かったので次に生かしたい！」「選挙もあるので、社会の出来事に興味がわいた！」などの声があがっており、政治や選挙に対して興味を増すことができたのではないかと思います。



【第2講堂が会場です】



【ホワイトボードを使って、考えを共有しました】



【最後にお礼の気持ちを伊藤先生に伝えました】